東京都立大江戸高等学校　平成２８年度　公民科　年間授業計画

１．科目名　　現代社会　　２．講座名（単位数）　現代社会（２単位）

３．教科担当者

４．使用教科書・教材　　『高等学校 新現代社会』（第一学習社）『新編テーマ別資料 現代社会 2016』（とうほう）

５．授業計画

学期	月	単元及び指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
１学期	4 5 6 7	○青年期の課題 ⑴ 青年期の意味 ⑵ 雇用と今日の労働問題 ⑶ 労働環境の整備 ○現代の民主政治 ⑴ 基本的人権と法の支配 ⑵ 日本国憲法の基本原理 ⑶ 裁判所と人権保障 ⑷ 選挙制度の現状と課題	○青年期がもつ意味を理解し、青年期に特有の悩みを解決しアイデンティティを確立する方法を探る。 ○憲法と人権について学習する。 ○裁判所、国会、内閣の役割について学習する。 ○地方自治の役割、および選挙制度について学習する。	○毎回の授業に出席をし、提出物を出すなど、授業に真剣に取り組むことができたか。 ○現代社会で生活していく上で、共通に認識・理解しておいてほしい事項について、問題意識をもって学習できたか。 ○国際政治・国際経済の動向に注目し、問題意識をもって学習できたか。	4 8 8 6
２学期	9 10 11 12	○環境と私たちの生活 ⑴ かけがえのない地球 ⑵ むしばまれる地球の環境 ○資源・エネルギー問題と私たちの生活 ⑴ 資源と私たちの生活 ⑵ 新エネルギーの開発 ○現代の経済社会 ⑴ 産業構造の変化 ⑵ 企業の役割と社会的責任 ⑶ 政府の経済的役割 ⑷ 金融機関の働き	○地球的規模の環境問題について、どのようなものがあり、人間生活にどのような影響を与えるかを学習する。 ○限りある資源と、生活に重要なエネルギーについて学習する。 ○日本経済について、企業・政府・個人の役割という点に着目し学習する。 ○財政・金融機関について学習する。		8 6 8 6
３学期	1 2 3	○国際経済の動向と日本の役割 ⑴ 世界の経済体制の動向 ⑵ 国際分業と貿易 ⑶ 国際収支と為替相場 ○国際政治の動向と日本の役割 ⑴ 第二次世界大戦後の国際社会 ⑵ 国家主権と国際法	○世界の経済体制をながめ、資本主義と社会主義について学習する。 ○貿易、為替相場、協力体制という点から日本と世界とのつながりを学習する。 ○現代世界でおこっている諸問題について学習する。	・定期考査 ・提出物 ・出席状況 を総合的に評価する。	6 6 4
				予定時数計	70